

フランスでの留学生活について （プログラム参加学生による Q&A）

【2012年12月現在の情報です。】

Q. ルアーヴルの天候は？

A. 8月～9月頃までは20℃あたりで過ごしやすかったです。しかしフランスの北端に位置するので冬は5℃以下の日々が続きます。また、夏を過ぎると雨期に入るので傘が必要です。

Q. フランスに住む上で困難なことは？

A. まずは英語が通じないことですね。携帯電話、電気、銀行の契約などを行う際は頼れる上級生に助けてもらわなければなりません。加えてフランスの行政は効率が悪いことで有名なので、多少手こずることはありますが、それも良い社会勉強になるかと思えます（笑）。

Q. フランス語は上達するのか？

A. フランス語は必修ですし、もちろんフランスに住んでいるので、個人の意志しだいで上達させる機会はいくらでもあります。学校内だと基本的に全員が英語を話せるので、最初はフランス語を話せなくてもやっていけます。ただ2年目にはフランス語による講義科目を必修としてとらなければならないため、それまでに一定の語学能力を身につけておくことは必要だと思います。

Q. 授業スケジュールは？

A. 私たち全員、最初の学期は週に12コマ（24時間）でした。基本的に授業は週4日になるように選択している人がほとんどです。

Q. 授業の難易度は？

A. Sociology, Political Scienceなどは日本人学生にとってあまり身近な科目ではないので、最初は分かりづらいかもかもしれません。ただやるべきことをしっかりこなしていれば問題はないと思います。

Q. ダブルディグリー・プログラムだからこそその制約はあるのか？

A. 基本的にありません。しかし2年目で法、経済、歴史のうち、経済を選択しなければならないという決まりはあります。普段はシアンスポの一学生として過ごしています。

Q. キャンパスライフの様子は？

A. 正直、現在（2012年秋学期）のキャンパスは商業ビルの1階部分をシアンスポが貸し切っている状態なのであまり「学校」という感じはしません。しかし幸い2013年1月から新キャンパスに移動します。新キャンパスは水辺に設けられ、なんととってもシアンスポ専用の空間になっているため私たちも楽しみです。

Q. どのような課外活動があるのか？

A. スポーツだとサッカー、バレーボール、バスケットボール、ラグビー、バドミントンなどがあります。文化的なものだとディベート、模擬国連、ライティング、その他諸々ございます。他にもチアリーディング（男性可）、様々なダンス、軽音などがあります。今年から、慶應生によって合気道部も発足するようです。

Q. 休みはどのくらいあるのか？

A. まず10月の半ば頃に1週間ほどの休みがあります。それに合わせて毎年 Weekend of Integration（通称 WEI）という、学校全体の小旅行／パーティーのようなものが開催されます。Final Examが終了する12月下旬から1ヵ月間、冬休みがあります。2月にも2～3週間ほどの休みがあり、5月末から3ヵ月間の夏休みです。

Q. 生活費はどのくらい？

A. 仕送りは毎月 800 ユーロほどで、十分やっています。

Q. 寮の質は？

A. 基本的に快適です。寮によって様々ですが、広さは十分ですし値段もあまり高くないので助かります。また同じ寮の学生たちと夕食会を開くなど、楽しい生活を送っています。

Q. 寮に浴槽はありますか？

A. いいえ、ありません。

Q. 食事はどうしているのか？

A. 基本的に自炊です。私たち 5 人は当初誰も料理ができませんでしたが、今では全員できるようになりました。

Q. 手軽な食べ物は？

A. 残念ながら武蔵家やチカラめしはございませんが、深夜まで営業するケバブ店が無数にあるので小腹がへった時はいつでもケバブが食べられます。

Q. おすすめの食べ物は？

A. まずはなんといってもパンとチーズですね。他にも美味しいレストランが意外と存在するので武蔵家がなくても生きていけます。

Q. 遊びといえば？

A. たしかにルーアールにはあまりエンターテインメント施設は存在しませんが、BDE という学生の団体が定期的にパーティーなどを主催するので退屈とを感じることはありません。また休日を利用して簡単にパリや近郊の街に出かけることができます。

Q. パリまでどのくらいかかるの？

A. 電車 (SNCF) で 2 時間、往復 32 ユーロほどです (学割)。

Q. ヨーロッパ旅行は行きやすい？

A. 鉄道を利用すればフランス国内はもちろん、ドイツ、スイス、イギリスなどの近隣諸国に行くことが可能ですし、ヨーロッパ中へ格安航空サービスが提供されているので、多くの学生は休みにヨーロッパ旅行を楽しむらしいです。

Q. 治安はどう？

A. 東京のように真夜中に気軽に出かけるということは少々危険ですが、基本的には大丈夫です。また同じ寮に住む人と一緒に帰るなり、自転車を購入すれば夜でもあまり心配はないと思います。

Q. このプログラムの何が魅力的か？

A. 慶應とシアンスポという、全く異なる環境を同等に経験できる機会、そして 2 年間という留学期間がこのプログラムの特徴だと思います。

Q. シアンスポでの生活を通じて変化したことは？

A. 様々な国籍の人たちと日々交流をしていく中で、日本に住んでいる間は取得できなかった視点を培うことができ、自分が将来やりたいことが少しずつ見えてきたような気がします (個人差あり)。インタラクティブな授業が多いので、学業に対してさらに積極的に取り組むようになりました (個人差あり)。料理ができるようになりました (満場一致)。とにかく毎日が楽しいです (満場一致)。